

ティーンズだより

みどりの翼



Vol. 16

特集

からだってー!?

◆ とびっく ◆

新刊・この本読んで!

図書館よりお知らせ

気になる、この本!

Read me! 「特集★からだって!」

この人の本、読んだ? 「外国の作家」

この人の本、読んだ?

『外国の作家』

プチ知識!

ティーンズコーナーの外国文学は、ファンタジーものを中心に、とても人気です。

今回は、たくさんいる外国の作家の中から、オススメの作家を4人ピックアップしました。あなたのオススメの作家がのっていなかったら、ぜひ掲示板に投稿して、みんなに教えてくださいね。

ミヒャエル・エンデ (MICHAEL ENDE)
1929-1995 (ドイツ)

もとは、俳優か劇作家を志望。「ジム・ボタン」の物語で人気を博します。有名な作品は、『はてしない物語』(1982年 岩波書店)でしょう。本を読むうち物語世界へ入ってしまう少年のお話です。時間泥棒にたちむかう『モモ』も人気。ファンタジーにどっぷりつかるとならエンデがおすすめです。

E. L. カニグズバーグ (E. L. KONIGSBURG)
1930- (アメリカ)

化学の教師を務めたのち、作家に。1968年美術館に計画的な家出をした少女が天使の像の謎を解こうとする『ク

ローディアの秘密』でニューベリー賞を受賞。(このとき『魔女ジェニファとわたし』もノミネートされていた。)冒険とユーモアにあふれた作品です。気に入ったら、『カニグズバーグ作品集』全10巻に挑戦しよう!

ジャクリーン・ウィルソン (JACQUELINE WILSON) 1945- (イギリス)

ジャーナリストを経て作家に。『ガールズインラブ』をはじめとするガールズシリーズが人気です。10代の主人公の目線でかかれた作品なので、恋や家族、自分のことで悩む主人公に、うんうんとうなずいてしまうはず。

ロアルド・ダール (ROALD DAHL)
1916-1990 (イギリス)

第二次世界大戦時にイギリス空軍の戦闘機パイロットとして従軍。戦後作家に。

『チョコレート工場の秘密』は映画化されて記憶に新しいですね。オススメは『マチルダは小さな大天才』。どの作品も、個性的な登場人物と驚きの展開にときどき。また、短編小説家としても有名で、短編集『キス・キス』などがあります。

参考:『オックスフォード世界児童文学百科』
犀書房 1999年刊/サイト「やまねこ翻訳クラブ」
<http://www.yamaneko.org/info/index.htm>

発行: 田原市図書館 発行日: 平成18年 10月 15日
〒441-3421 田原市田原町汐見5番地 TEL 0531-23-4946 FAX 0531-23-4646
<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>

☆新刊・この本読んで！☆

7月から9月にかけて受入された新刊からおすすめの本を選びました。

これから本を選ぶときの参考にしてみてください。

「永遠の友だち」 サリー・ワーナー//著 角川書店 933/7 ティーンズ

ケイディとナナは幼馴染で一番の親友同士。ケイディにとって、そんな大切な大切な親友がもうすぐ死んでしまうなんて……。大好きな丘で2人仲良く過ごしていた日々を送るのを願っていたのに襲い掛かる悲劇。2人の周りの人々や環境、関係が変わりたくないのに変わっていきましまい……。普段はあまり深く考えない死や友達について考えさせられる一冊です。

「南極がこわれる」 藤原幸一//写真・文 ポプラ社 488.66/フ ティーンズ

みなさん、南極といえば、どんなイメージが思い浮かびますか？一面、真っ白な氷の世界で、ペンギンやアザラシ、シロクマがのびのび自由に生きている。と思っていたあなた！この本をペラペラとめくって見てください。ズバリ！衝撃的です。夏の南極は、氷がとけて、地面がむきだし、そこには、人間が置いていったゴミがいたるところに散らばっています。そこで生きるペンギンの姿を見て、あなたは何を思いますか？

「三四郎はそれから門を出た」 三浦しをん//著 ポプラ社 019.9/ミ ティーンズ

読書が大好きで、本から離れられない活字中毒者の著者による、愛のブックガイド&エッセイです。もとは朝日新聞や雑誌に連載していたものをまとめ、単行本化したもの。ジャンルは幅広く、マンガから難しめの文学まで。読みやすい軽快な文章の面白さはもちろんですが、本漬けになっている著者の読書生活も見えて、楽しめます。著者は2006年7月に『まほろ駅前多田便利軒』で直木賞を受賞。これからますます楽しい作家さんです。

♪図書館よりお知らせ♪

1. 読書感想画募集！

読書感想画を募集してます！読書に最適な秋、ついでに芸術の秋にもしちゃいませんか？参加してくれた人にはもちろん、ちょっといいものプレゼントしちゃいます★

- ・募集期間 9月16日（土）～10月22日（日）
- ・展示期間 10月26日（木）～11月30日（木）
- ・展示場所 中央図書館こどもしつ
- ・対象 幼児～中学生
- ・応募の決まり 一人一点 紙のサイズは八つ切り（27cm×38cm）
中央図書館児童カウンターで受け付けます。

※作品は12月2日（土）より中央児童カウンターでお返しします。

2. おとりよせカード

おとりよせカードが誕生しました！資料検索をして、所蔵場所の欄に「渥美図書館」や「赤羽根図書館」と表示されたとき、おとりよせカードに記入して、カウンターまでお持ちください！申し込んだ日から1～4日後にはご用意できます。これまでご記入いただいていたピンク色のリクエストカードは、未所蔵図書をリクエストする時に使用してください。

気になる、この本！

「この本いれて！」

「**プロ野球a i**」（雑誌） ペンネーム：広島カープ松本高明 21才。

女性ファン層を中心としたプロ野球情報雑誌。

図：図書館の雑誌は、年間単位でどの雑誌を買うか、決めています。どんな雑誌が利用されるのか参考になりますので、貴重な意見です。

「この本読んで！」

「**バッテリー**」 ペンネーム：なつき

めっちゃおもしろいです。野球のおはなし。

図：岡山を舞台に、映画にもなる話題の1冊。今、野球が熱いゾ!!

図書館がオススメするすてきな本

Read me! 特集★からだって!?

今回は、「カラダ」に注目してみようと思います。

一口に「カラダ」といっても、身長・体重・内臓・心理・精神・・・など形のみえるものから、みえないものまで、いろんな働きをしています。

自分が意識しなくても、毎日うごいている心臓ってスゴイと思いませんか？ちょっと考えると疑問がいっぱい、不思議な世界です。

人間、誰しもコンプレックスをもっていますが、特集の本をいろいろ読んで自分の「カラダ」について、よく考えてみよう！

「終わりのない旅。」

吉田都//著 阪急コミュニケーションズ 2005年 769.91/ヨ 一般

世界的に活躍しているバレリーナ吉田都さんのエッセイ。

著者いわく、「バレエは言葉を使わずにストーリーや感情を表現し、伝える芸術」。そのため、バレエダンサーの体は「とってもおしゃべり」なのだそう。それを可能にするやわらかく力強い体をいかに作っていくのか、その過程もかいま見えます。

また、写真も盛りだくさんで、どれも美しい！それだけでも一見の価値アリ。特に81ページの爪先立ちの足の写真は必見です。厳しい練習を積み重ね、多くの舞台を踏んだ足に感動。思わず爪先立ちしたくなるかも。

「soul surfer ソウル・サーファー」

ベサニー・ハミルトン//著 鹿田昌美//訳 ソニー・マガジズ 2005年 785/ハ ティーンズ

ハワイ在住のベサニーは、サーフィン好きの両親のあいだに生まれ、彼女もサーフィンが大好き。いくつものコンテストで優勝するほどでした。ところが、2003年10月、波を待っていたとき突然サメに襲われ、左腕を失ってしまいます。サーファー生命を絶たれたかに思われた彼女でしたが、1週間後には、サーフィンを再びやることを考えていました。それは、信仰に根ざし、家族や多くの人々が支えとなり、何よりサーフィンが好きな彼女自身の前向きな意思が力となっていたからです。

読んだあと、むくむく力がわいてきそうな1冊。

「おもしろからだことば 頭編」

石津ちひろ//文 石井聖岳//絵 草土文化出版 2003年 814/イ 移動

体の部分の名がついた表現って本当にいろいろありますね。

目からウロコがおちたり、耳にたこがでたり、顔から火がでちゃったり、むかしから伝わる言葉って、不思議と頭に残りませんか？からだことばが、こんなにたくさんあるということは、むかしから、日本人は自分の体をよく観察していたのですね！胸がおどりと、膝が笑っちゃう、「体編」もあります。それぞれの言葉におもしろいイラストもついているので、ペラペラめくり読みをするだけでも、楽しめる。カラダの特徴をよく観察して、新しいからだことばを作ってみるのも楽しいゾ！

「こどものためのドラッグ大全」

深見埴//著 理論社 2005年 368/フ ティーンズ



「学校でも家でも学べない、キミが知りたい、リアルでたいせつな知恵が満載!!まったく新しいYA新書。」という、キャッチフレーズのよりみちパンセ！シリーズです。こどものための、、、なんてタイトルですが、大人も知らない、ドラッグについての事実を包み隠さず語っている、今までにないタイプの一冊。ドラッグの種類・その作用・メカニズムやリスク・やめる方法など、「恐ろしい」「危険だ」「ダメ人間」そんな偏見だけでドラッグのことをみるんじゃなくて、現実問題、日本もここまで深刻なのか。と思ってしまう。具体的かつ危機感を感じる一冊です。

「パラサイト・イヴ」

瀬名秀明//著 角川ホラー文庫 1996年 913.6/セナ 一般

「ミトコンドリア」といえば、生物の授業に出てきたアメーバーみたいなもの。くらいの知識で読みはじめたら、なんだかドンドン恐ろしい方向へ話が進み、、、腎臓移植の問題や、医学、薬学の専門用語がじゃんじゃん出てきても、ドンドン引き込まれ、あっという間にクライマックス。これぞエンターテインメントホラー!細胞の中で核と共生するミトコンドリアがもし反乱を起こしたら、、、なんて、やはり専門分野の研究者ならではの発想です。

本作が初作品にして、日本ホラー小説大賞というのもうなずけます。読んだ後、心臓ではないカラダの一部がドクッ・ピクッなんて動いたら、それこそ「ギャー」と飛び上がるほど恐ろしいホラー小説。

「ここまでできる最先端科学技術①からだ」

菅沼定憲//著 ゆまに書房 2002年 502/ス ティーズ

科学はどこまで進歩していくのでしょうか。実現しつつあること、実現にはまだまだ遠いこと、体に関するさまざまな最先端技術が2ページごとにテーマでまとめられ、写真とともに紹介されています。

例えば、目の見えない人を見えるようにする研究では、頭に直接コードのようなものがつながれた写真が！という仕組みなのか首をひねるばかりですが。

病気や障害を克服するための技術は、歓迎され期待されるものですが。その一方で、文明の発達をもたらした、環境ホルモンや狂牛病の問題などにもふれられていて、人にとって良いことばかりではないことにも気づかされます。

「俳優になりたいあなたへ」

鴻上尚史//著 筑摩書房 2006年 771.7/3 ティーズ

タイトルのとおり、俳優になりたい！という人は是非読んでみてほしい一冊です。俳優に必要なもの・・・ルックスだ！なんて大間違い。才能？いえいえ、違います。美形な人ばかりがいてもドラマや映画はなりたたないのです。必要なものは技術や経験、コミュニケーション力など・・・。真に必要なものは、まだ別にあるんです！実際にどういう活動をしているのかを、俳優になりたい二人組がプロにいろいろと聞くとという会話方式で見やすく読みやすい、この本。見る側じゃなくて、演じる側にトライしてみませんか？

「クマのプーさん フィットネス・ブック」

A.A.ミル//原案 E.H.シェパード//原案 高橋早苗//訳 筑摩書房 1999年 780.7/ク 一般

プーさんにもプーさんの悩みがあるんです！私たちと同じように痩せたいなあっと。あせらず、のんびりと短い時間で、日常の行動から痩せようとがんばるプーさんを見ながらダイエットに励んでみませんか？ほんわかと和むようなプーさんの日常を追いかけてながら、取り入れてみよう！なんて行動があるかもしれません。運動に関するプチアドバイスも載っています。運動の秋、プーさんと一緒に運動してみませんか？

「ないもの、あります」

クラフト・エヴィング商会//文 筑摩書房 2001年 914.6/クラ 一般

おかんむり、地獄耳、転ばぬ先の杖、堪忍袋などなど有名なこれらが商品になっていたら！？なんて考えたことがありますか？そんな考えたこともないようなおもしろい発想をした本がこの一冊です。例えば、「おかんむり」、機嫌が悪い・怒っている・不機嫌な様子なんて意味ですが、この言葉が商品になったら・・・？一つ一つの話しが短く、笑いがギュッと詰まったものばかりで読んでいる時間が・・・なんて人にもオススメです。話だけでなく、商品の挿絵・解説文までもがおもしろい！思わず本来の意味を知るために辞書を引きたくなるような本、笑いながら勉強意欲が増す（？）一石二鳥な一冊はいかがですか？

「150cmライフ」

たかぎなおこ//文 メディアファクトリー 2003年 726.5/タ 一般

アナタの身長は何cm？この本はタイトルのとおり、身長150cmのまま大人になった著者がおくる日常をかわいいうイラストと文章で綴った本です。衝動買いをしてしまった服が、実際に着てみたら合わなくて、自分でリフォームしちゃえと切って直してみたけれど・・・。またまた、可愛い子ども服が着れてしまったりなどなど、いいこと困ったこと工夫していることなどをヘーと思いつつ楽しく読めることまちがいないです！大きな人でも、こんなことがあったなあと思いだしてみたり、今、同じ身長で共感できちゃうこの一冊、是非読んでみませんか？現在3巻まで出ています！

他にもこんな本あります♪

- 「解剖学教室へようこそ」養老猛司//著 筑摩書房 1993年 491/ヨ ティーズ
- 「人体 HUMAN BODY」同朋舎 1998年 491.1/ジ 一般
- 「3Dフラワーズ」ジョージ・3+鴨下恵子//著 廣済堂出版 2003年 496.41/ジ 一般
- 「ババールのヨガ」ロビン・ブレイク//作 伏見操//訳 白泉社 2005年 498.34/ア ティーズ
- 「美人画報ハイパー」安野モヨコ//著 講談社 2001年 595/ア 一般
- 「ダブルダッチプレイブック」学習研究社 2003年 781.4/ダ ティーズ

★もっと調べてみたい人・ほかの本を探したい人へ★

図書館では調べものや本を探すお手伝いをしています。
カウンターなどで気軽に声をかけてね！

＊次回のテーマは「空へ」です。お楽しみに！